

大和公園 再整備

ワークショップ

第2回



▶ 本日のプログラム

時間	内容
9:30～ 9:35 (5分)	あいさつ、はじめに
9:35～ 9:50 (15分)	第1回ワークショップの結果の紹介
9:50～10:00 (10分)	改修ゾーニング案の紹介
10:00～10:30 (30分)	第1回ワークショップ結果のプラン反映 (前半)
10:30～10:40 (10分)	休憩
10:40～11:10 (30分)	第1回ワークショップ結果のプラン反映 (後半)
11:10～11:20 (10分)	まとめ・発表
11:20～11:25 (5分)	閉会、次回の予定

▶ ワークショップの流れ

現状・課題把握

オープンハウス
今の公園について
現状・課題を把握します



① アイデア 検討

第1回
公園の改修方法について
検討します



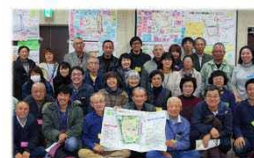
② 解決方針の設定

第2回
素案(平面プラン)の
確認及び方向性の確定



③ 対策の検討・立案

第3回
改修案をつくって
完成させます



▶ 検討を行う上での前提条件

- 児童館は現状のままです。
- 現在ある遊具は、撤去・移設は行いません。
(緊急点検により、すべり台・うんてい・ジャングルジム
・鉄棒(高)の改修が行われています。)
- トイレはバリアフリー対応に更新します。
- 老朽化したじゃぶじゃぶ池は更新予定です。
(中野区公園再整備計画ではドライ池等への更新を位置付けて
ています。)

▶ 第1回ワークショップの結果の紹介 ※一部抜粋

大和公園の将来の使い方

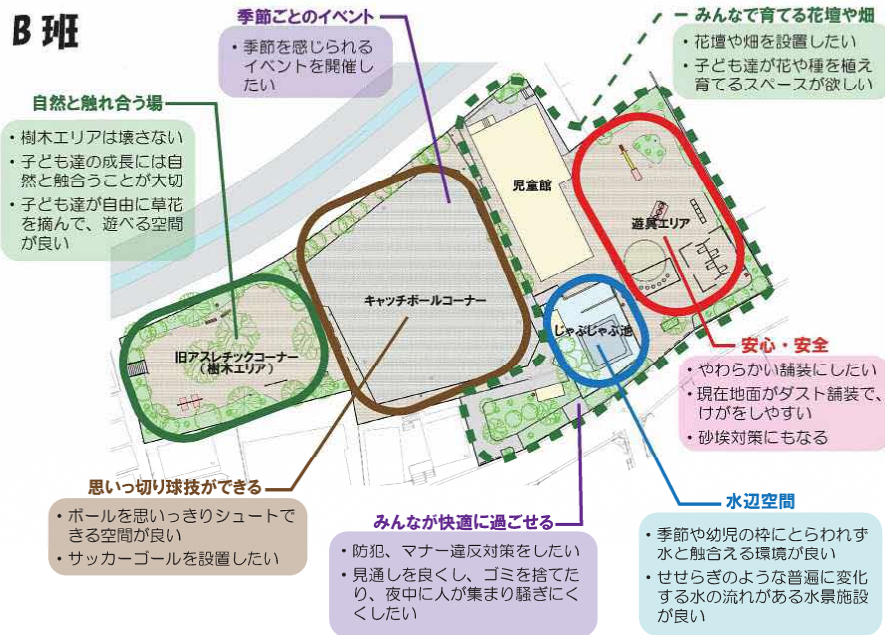
ワークショップにて皆さんから頂いたご意見 ※一部抜粋

A 班



▶ 第1回ワークショップの結果の紹介 ※一部抜粋

B 班



▶ 第1回ワークショップの結果の紹介 ※一部抜粋

その他のご意見 ※開催後、欠席者の方から頂いたご意見も追加しております。

球技ができる公園

- ボール遊び可能な時間を近隣住民と対話してルールに明示する
- 管理事務所(児童館)でボールが借りられる

子どもの遊び声、楽器の音を地域で許容する公園

- 子どもが声を上げてはしゃげる公園
- 子どもが遊ぶ姿をあたかく見守っていますというプラカードをたてる
- 決められた時間帯だけでも、常識の範囲内で楽器の練習ができると良い

地域の居場所となる公園

- 広場の設置
- 地域住民が気軽に声を掛け合い顔を知ることができるようにしたい
- 子どもから高齢者まで意見交流の場を設ける
- 乳幼児障害児がゴロゴロ横になれるスペースをつくる

遊具が沢山な公園

- 複合遊具の設置
- キャラクター、動物、乗り物などのペイントがあると子どもに親しみやすい
- 安全が保障されている珍しい遊具を設置する

防災機能がある公園

- かまどベンチの設置、定期的な使用を許可する時間をつくる

その他

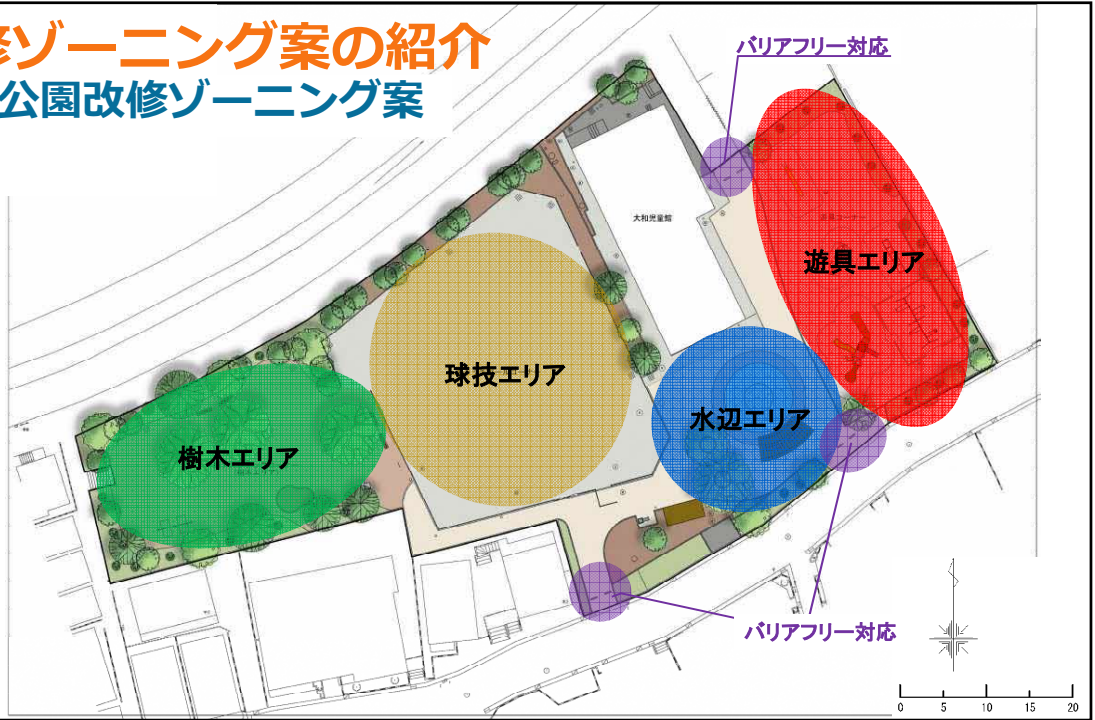
- 魚とりができる公園
- 井戸の設置
- 調理場、食事スペースをつくる
- 膝が悪い人用の1人用イスの設置
- 綺麗な水場、シャワー機能
- 焚火体験

▶ 改修ゾーニング案の紹介

▶ 大和公園現状平面図



▶ 改修ゾーニング案の紹介
▶ 大和公園改修ゾーニング案



▶ ワーク【公園改修プラン】

第1回ワークショップ結果
のプラン反映

▶ ワークショップの4つのルール



▶ 第1回ワークショップ結果のプラン反映

遊具が沢山の公園		
将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
広い世代が利用できる遊具	樹木エリアへ大人用遊具（健康遊具等）を設置することは考えられますが、プレーパーク活動の中で鉄棒を使用しており、調整が必要となります。	
複合遊具 珍しい遊具の設置		
アスレチック遊具 キャラクター、動物、乗り物等のペイントがある遊具		

バリアフリーに配慮した公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
一人用のいす (膝が悪い人用)		

安心・安全な公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
砂塵対策		
やわらかい舗装		

球技ができる公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
ボール壁当て	ボールがネットや壁等に当たると音が出て周辺への迷惑となることが懸念されるため、ルールづくりや周辺住宅との合意形成が必要となります。	
サッカーゴール		
バスケットゴール		

地域の居場所となる公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
自分たちで自由に使用できる広場などが欲しい		
色々な世代との出会いの場		
幼児などがゴロゴロ横になれるスペース	芝生や雑草の舗装は、維持管理（刈り込み、挿植、肥料、養生など）が必要となります。	
イベントを開催するステージ等の設置	常にイベント等を開催できる状況にすると周辺住民との合意形成が必要となります。	

水辺空間のある公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
子どもは触れて大人は眺めて楽しめる水辺空間		
季節や幼児の杵にとらわれず水と触れ合える環境		
水の流れがある水景施設の設置（せせらぎや川）	馬橋公園のせせらぎは、公園の規模の差（大和公園の約6倍の広さ）や高低差があり、整備の条件が異なります。 キャッチボールコーナーを大幅に縮小した場合、長さが短いせせらぎの設置は不可能ではない等の検討を行いました、 キャッチボールコーナー利用者との合意形成が必要となります。	

自然環境が豊かな公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
泥（土）遊びができる	泥遊び場は、維持管理（使用した後の手入れや泥の補充など）への対応が必要となります。	
木登りができる 高台、ツリーハウス、木の上、上空に登れる施設	利用者の危険を回避するため、利用時には管理者が常駐する必要があります。また、利用外は、いたずらされないように閉鎖管理（利用時間外は、鍵をかけて公園利用を制限）することとなります。自由に利用できる公園利用を阻害することとなります。	
樹木エリアは壊さない		
自由に草花を摘んで遊べる空間	草花摘みや花壇、畑は、維持管理（日常的な手入れ、種蒔きや苗植え、肥料など）への対応が必要となります。	
みんなが育てる花壇や畑		
植生物の観察		
井戸の設置	水質が衛生面で適さないことが多く、年1回の水質検査や日常的な点検が必要となります。	

みんな快適に利用できる公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
公園南側入口周辺の見通しを良くし、防犯、マナー違反対策		

音楽が楽しめる公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
楽器の音を地域で許容	音が出て周辺への迷惑となることが懸念され、ルールづくりや周辺住宅との合意形成が必要となります。	

イベントが充実している公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
イベントの開催	公園の占有（使用）許可申請を提出していただき、一定のルールに従ってイベントを開催することは可能です。	

子どもの遊び声を地域で許容する公園

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
子どもの遊び声を許容するプラカードの設置	看板の設置は、公園の利用ルールに限定しており、周辺住宅との合意形成が必要となります。	
子どもが声を上げてはしゃげる公園		

その他

将来像	実現するための課題、条件等	実現判断
調理場、焚火体験、かまどベンチの定期的な使用	公園内で火気を使用することは、火災の危険性が高くなります。（東京都の地域危険度で大和町2丁目は、総合危険度ランクが4、火災危険度ランクが4（ランク1～5で数値が大きい方が危険性が高い）	

▶ 第1回ワークショップの結果のプラン反映

▶ ドライ池とは？

○噴水のように水が噴き出す
循環型の親水施設

※写真は代表的なドライ池のイメージです
※規模が大きな公園への設置例です



▶ ドライ池の種類・機能



一時的に水を溜めることも可能
(写真は水深5cm程度)



ミストの噴出



異なる種類の噴水の併用



使用時以外は広場として使用可能

※写真は代表的なドライ池のイメージです

▶ **まとめ・発表** ～情報共有～



▶ **閉会**

- ・ 1月21日（土） 14：00～16：00
- ・ 大和区民活動センター（洋室1号）

～やること～

○改修プランを完成させます！

本日はお疲れ様でした